

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年4月23日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4679500092
法人名	社会福祉法人 ともお会
事業所名	さくら園グループホーム
所在地	鹿児島県大島郡知名町知名アギナ1949 (電話) 0997-93-5151
自己評価作成日	平成23年2月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://kaken-shakyo.jp/kohyo">http://kaken-shakyo.jp/kohyo</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成23年3月20日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・食堂ホールでは毎日のバイタルチェック、体ほぐしやテレビ鑑賞を楽しまれている。ソファでは利用者同士、仲良く日向ぼっこされ会話をしみゆったりと過ごされている。
- ・同敷地内に特養、デイサービスセンターが併設され、いつでも交流が図られ、合同行事の夏まつり、敬老会、運動会、毎月の島唄や誕生会、地域の行事への参加、見学など楽しまれています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・職員会議の前に管理者側から課題を出して職員に意見を求めるようにしており、支援体制等について研鑽が行われている。
- ・行事後に職員や参加者へアンケートを行い、思いや意向を把握して今後の運営に活かしている。
- ・特別養護老人ホームとの連携で付設しているデイサービスの利用者との交流を行い、夏祭りや敬老会・運動会等を合同で開催し楽しんでいる。
- ・父の日にはバイキング料理を計画しており、利用者全員が楽しみにしている。
- ・ホームの2ユニット職員全員で、全部の利用者一人ひとりを把握し、細やかな支援できるようにしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎年の事業計画資料に掲載し、職員研修会での朗読、説明、会議室やホームに掲示してあり職員は理念を共有し、日常業務でその実践に向けて活動している。	ミーティングで、理念について読み合わせを行っている。日常業務を通じて、気づき帳等で確認合っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	三人行事については、町の無線放送をお願いして地域住民との交流が図られるよう呼びかけをしている。	夏祭りや敬老会・運動会を併設の特別養護老人ホームと合同で行い、家族からも大変喜ばれている。保育園や地域の婦人会・民生委員達も参加するなど、地域住民との交流に努めている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	職員が字の婦人会の役員をしたり、積極的に地域住民との交流やボランティア活動に参加している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	活動内容を報告して活発な意見、要望がでる雰囲気づくりに努めている。	推進会議では委員からの意見が活発に出ている。出された意見は職員に伝え、要望等には全職員で改善策を検討し、サービスの向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	電話等で情報の共有、運営について連絡を密にして、さらにサービスの質の向上を目指して連携を密にしている。	町の担当者とは電話連絡や認定更新時を通じ連携に努めている。担当者がホームに訪れた時や事業所からの書類を届けた時などにも早めに必要な情報を得ている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束は行わないということを、すべての職員が正しく認識する。5つの基本的ケア（①起きる ②食べる ③排泄する ④清潔にする ⑤活動する）に努めている。	研修会や職員会議で身体拘束をしないケアを全員で学んでいる。利用者が外に出た時は、職員や地域住民の協力で支援している。日中は玄関に施錠をしないで自由に生活をしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	地域包括支援センターの資料等で合同勉強会を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	地域包括支援センターや役場と必要に応じて連絡、指導を仰ぎ勉強会をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>重要事項に添って十分な説明をし、特に利用料や、事業所・職員に対する苦情、要望については小さなことでも声かけされるように説明をしている。担当ケアマネジャーや地区の民生委員等と連携を密にして十分な説明をして理解を深めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>意見箱を設置したり、また日常業務の中で利用者が職員に何でも話せる信頼関係を築くように努めている。</p>	<p>日々の支援時や面会時に利用者や家族の意見を聞くようにしている。要望は職員で検討して支援に反映させている。意見箱も設置している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月の代表者会、職員の全体会等を定期的に開催して、職員の意見を運営に反映させるように努めている。</p>	<p>毎月のミーティング時等に、職員の意見・要望・提言を聞くようにしている。また、行事後にアンケートを行い、次回に活かすようにしており、職員の意見を反映している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>社会福祉制度、介護保険制度、社会情勢の変化に対応して、諸規程の整備を図ると共に安心して、働ける環境づくりに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>郡、県の協議会に加入して各研修会に参加するように努めている。また島内の研修会には、夜勤職を除いて全員研修に参加するようにしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>郡、島内のグループホームで相好訪問体験活動を実施して、勉強会をしてサービスの質の向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居に至るまで、本人と良い関係が保てるように受け止め、生活暦や趣味などを知り、理解を深め会話ができるようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の話しを、ゆっくり聞く場を設け困っていること、不安なことなど家族の思いを受け止めるようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	担当ケアマネジャー、管理者計画作成担当で検討、説明し、もっとも適切なサービス提供に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	プライバシーに配慮しながら、コミュニケーションを図り、ケアができるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人と家族の絆を大切にしながら、家族会、夏まつり、敬老会、運動会、クリスマス会、年祝いなど常に働きかけし共に本人を支えていく関係づくりをしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	本人の字巡りや、友人と面会ができるように野外活動をしている。面会時にはお茶等を準備し、自室でゆっくり会話を楽しまれている。	馴染みの美容室等に行き、関係継続の支援をしている。また、家族や知人が面会に訪れた時は、本人の居室でお茶などを入れて楽しく過ごすようにしている。遠距離の家族には電話で声の便りを届けている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	趣味や楽しみを共にかかわりあえるように支援しながら、その日の状況に応じて行っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院時にはお見舞いや食事介助等、特養へ入居された方との面会など交流を図っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人と話しあったり、困難な場合は家族と話し合い、本人の意向に近づけるように取り組んでいる。	日々の支援を通して、思い出話などから本人の意向を把握するようにしている。気づき帳に記録し、ケア会議時に情報交換を行い職員全員で共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族、本人等から今までの生活を把握するように努め、入居当初に生活歴、趣味、学歴、習慣など情報の収集に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人の心身の状況等を観察して、一人一人の現状の把握をしながら一日を過ごしていただいている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、家族、職員、関係者と検討会をもち、個々のケア記録を作成し、6ヶ月または必要時や状態の変化時に見直しを行うようにしている。	本人ができること・できないことや要望や意向等をミーティングで協議し、介護計画書を作成している。健康状態等の変化時には、そのつど見直しも行って	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々のケア記録を個別化し、情報を共有しながら、見直しや実践に活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	地域包括支援センターや居宅介護支援事業者等と情報交換や連携を図り、継続的な暮らしができるよう支援している。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	保育園児、小中学生との交流会、消防署との訓練、ボランティア、慰問などがあり楽しまれている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	専門医（皮膚科・眼科・耳鼻科・歯科等）に送迎し受診の支援を行っている。	本人の希望するかかりつけ医での受診を事業所で支援している。受診後は面会時や電話で家族に報告している。関連の病院からも月に2～3回往診があり、適切な医療が受診できるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医院の看護師、特養・デイサービスセンターの看護職員と相談しながら支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院中は面会に行ったり、その都度、情報交換に努め、早期退院のための話し合いや、入退院時のサマリーで情報を共有している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した場合のあり方について、入居時に話し合い、また常に家族の意見を聞いて対応するように努めている。</p>	<p>重度化や終末期について、本人や家族の意見を聞きながら共有し、安心して生活が送れるように支援している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>病院の看護師や、特養・デイサービスの看護師の指示や助言、訓練を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回、入居者と共に参加、避難方法を身につけるようにしている。</p>	<p>防火訓練は年2～3回実施し夜間想定避難訓練もしている。地域の民家が離れているので、隣接の特別養護老人ホームからも応援を依頼し、夜間勤務者と連携を密に取っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	食事前の排泄等の声かけには、食事前の手洗いに声かけし、一人一人にあった言葉使い（方言等）で声かけをしている。	プライバシーの確保について、研修会で学んだ事を全体会で伝達研修をしている。また職員会議でも再確認するとともに、常に声かけには傍に寄り添い、声のトーンや目線には気をつけ支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	コミュニケーションを図り、日々のなかで、本人の思いや希望をひきだし自己決定できるように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者一人一人のペースを大切に、状態にあわせて希望にそった支援ができるよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	理容所や美容院、衣料品店への送迎を行っている。入浴後はクリームや化粧水でおしゃれの支援をしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	本人の好きな食べ物（りんご、ヨーヒー、黒糖）について本人や家族より、情報を収集して日々の生活のなかに取り入れている。野菜の下ごしらえ、食後の片付け、下膳など一緒に取り組んでいる。	事業所の畑に植えた野菜の収穫・下ごしらえ・食後の片づけなど、日常的に楽しむ事ができるように支援している。時にはバイキングの料理で利用者全員が楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士の献立によりバランスの良い食事が提供でき、一人一人の水分、食事等の摂取チェックを毎食行い、習慣性など考慮している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアに誘導し、一人一人の口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアを支援している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の訴えがなくしぐさや様子で、自室トイレへ誘導、食事前の手洗いに行きましよう、自室トイレでスムーズに行えている。	細やかな観察により便意や尿意を把握し、一人ひとりの状況にふさわしい支援をしている。リハビリパンツや綿パンツ使用で排泄の自立に向けた支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日、排便チェックを行い、かかりつけ医の指示による、暖下剤の服薬を行いながら、運動やスキムミルク、牛乳、カスピヨーグルト等を摂ってもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴して大丈夫かの見極めをして、本人と一緒に着替えの準備をしたり、ゆっくり入浴が楽しめるように支援している。	身体状況や希望をふまえて、ゆっくり・ゆったり入浴を楽しめるよう支援している。また拒否する利用者には友達から声かけしてもらったり、入浴への誘導の言葉かけを工夫しながら支援している。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	添い寝をしたり、夜間の不眠時は会話対応し、温かい飲物や黒糖などを摂ってもらっている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	効能や副作用については受診時、添付の薬のしおりや薬辞典などで理解を深め、かかりつけ医の指示に従い、薬剤表と照らし合わせながら支援している。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人が自然なかたちでできる事、役割、楽しみごと（野菜ちぎり・お膳拭き・ダンス・鳥唄・お経を唱える・お化粧等）の支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>行きたいところを本人や家族から把握して（地域や孫の行事・買物等）に出かけ地域の方との交流ができています。</p>	<p>日常的には、近隣の散歩などを支援している。毎月外出を計画し、利用者の要望にもとづき、家族に会いに行ったり・墓参り・買い物・花見・敬老会などに出かけ、地域の知人や友人と交流を楽しんでいる。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人と家族の希望で、所持金については対応し、一緒に買物に出かけ、お供用の花や化粧品の購入など希望に応じて行っている。</p>			
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>島外の家族へ、お元気な声だけでもと電話をかける機会をつくっている。希望に応じて電話や手紙の代筆等したりしている。</p>			
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>職員間でアイデアを出し合っ、生活感や季節感を取り入れて居心地よく安心して過ごせるよう努めている。</p>	<p>共用の場は、明るく好きなことが自由にできる空間である。壁には季節の飾り付けがされている。雛人形等が飾られ季節が感じられる。ゆったりと居心地よく過ごせる工夫がされている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>好きなテレビを一人で楽しんだり、雑誌や広報誌（広報ちな）を読まれたり、気のあった同士で、ゆったりと会話し過ごされている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人や家族と話し合い、使い慣れた生活用品や寝具など好みのものを居室に取り入れ、居心地よく過ごしていただけるように努めている。</p>	<p>家族の写真・人形・衣装ケース・布団・タンス・位牌等を持って来て、本人好みの居室づくりがなされている。部屋から自由に庭に出れるようになっており、のびのびとした家庭的な暮らしをしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ホール内は手すりがあり、各居室には洗面台、トイレ、タンスがあり、一人一人の力に応じて、安全に自立した生活が送れるように努めている。</p>		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない